



# 入試問題研究

今回は医学部入試で、現役生と既卒生とで大きく得点差がつく問題を【英語】と【数学】から取り上げました。既卒生はもちろん、現役の高3生もぜひチャレンジしてみてください。

医学部への合格 *on the road*

日本医科大学/愛知医科大学・英語

## 2019年度 日本医科大学前期入試【I】より抜粋

次の英文において、( ) に入れるのにふさわしい表現はa～dのうちのどれか。意味の通る英文とするために適切なものをすべて選べ。

- (1) In such a desperate situation, it is not surprising that people will ( ) extreme measures.  
 a. resort to    b. employ    c. dependent on    d. account for
- (2) No matter how ( ), you still need to have some time to relax.  
 a. much time you spend working    b. hard work you do  
 c. much you devote yourself to your work    d. hardly you work

**解答** (1) a. b. (2) a. c.

**解説**

- (1) 訳「そのような絶望的な状況では、人々が極端な策を( )するのも驚きではない。」この英文の( )に入る選択肢は2つある。まずa.のresort to～は「(よくない手段に)頼る」であるため( )に入る。次にb.のemployだが一般的には「雇う」と覚えている受験生が多いが、「(手段を)用いる」という意味があるのでこれも正解となる。残りのc.とd.であるが、c.のdependent は形容詞であるため文法的に誤り。そしてd.のaccount forは、主に「説明する」「責任がある・原因である」「占める」という意味であることから不適である。
- (2) 訳「たとえ( )、あなたはリラックスする時間を持つ必要がある。」この英文の( )に入る選択肢も2つある。a.は「どれだけの時間を仕事に費やしても」という意味で、文脈的にも文法的にも問題ない。b.についてはNo matter how much+不可算名詞やNo matter how many+可算名詞は可能だが、それ以外の形容詞の場合No matter how +形容詞+冠詞+名詞の語順で用いるため文法的に不可。c.は「どれだけ仕事に没頭していても」で意味が通り、このmuchは副詞なので文法的にも正しい。d.のhardlyは「ほとんど～ない」という準否定語なので、文脈的にも文法的にも間違いである。

## 2019年度 愛知医科大学入試Ⅲより抜粋

次の各文章において下線部分が入るべき最適な位置を①～⑥または①～⑧よりそれぞれ選び、その番号を選べ。

- (1) had  
 When you think back a few years, it's usually pretty easy to see that each of the major choices  
 ① you made can be seen as forks ② in the road. In other words, ③you made a decision or  
 ④ choice that ⑤ led you in a certain direction; ⑥ you made a different choice, you would, in all

likelihood, have gone in a different direction.

(2) that

If a river receives an unusually large amount of water, it may overflow its banks. The river is less likely to flood, however, if the surrounding land ① is very absorbent. The area ② drained by a river, like a giant sponge, ③ soaks up much of the moisture ④ falls upon it. A part of what is left evaporates. What remains, called the runoff, ⑤ flows into the river through streams. During the rainy seasons ⑥ the ground becomes saturated and the runoff is much greater. When winter snows ⑦ melt, if the ground remains frozen, no moisture ⑧ can soak into it and almost all the water runs off.

**解答** (1) ⑥ (2) ④

**解説**

- (1) ⑥の直後にある2つの文は接続詞が無いにも関わらず繋がっている点に注目。2つ目の英文中にあるwould have goneから仮定法過去完了であると推測すると、⑥ you made a different choiceは、if you had made a different choiceのifが省略され倒置が起こったと判断できるので⑥の部分にhadを加える。  
 〈正しい文〉 had you made a different choice, you would, in all likelihood, have gone in a different direction.  
 訳「もし違う選択をしていたら、君は十中八九異なった方向に進んでいただろう。」
- (2) 第3文の主語はThe area、動詞はsoaks、目的語がmuch of the moistureである。④の直後にあるfallsは3単元のsがあるため動詞であると限定できる。しかし等位接続詞andやbutがないため動詞としては使えない。そこで挿入する語として与えられているthatを関係代名詞主格と考えて加えれば正しい文となる。  
 〈正しい文〉 The area drained by a river, like a giant sponge, soaks up much of the moisture that falls upon it.  
 訳「川によって排水されている地域は、巨大なスポンジのようにそこへの降水の多くを吸収する。」

**講評**

現役生は高校でセンター試験対策中心の指導を受けるため、文法と英文の構造分析を学習する機会が既卒生と比べると少ない。ところが私大医学部入試では、今回取り上げた問題のように、これらの知識がないと解答できない問題も出題される。今回は扱わなかったが、近畿大学や久留米大学や国公立大入試の二次試験における自由英作文や文中空所補充などでも同様の知識が問われる。この様な問題に対応するためには、単語の勉強をする際に品詞を意識し、複数の意味があればそれらもしっかり覚えることが必要である。文法に関しては選択式の問題を正解するだけでなく、誤りの選択肢を否定する理由も考えることで英語力を上げることができる。長文の場合、速読と要約だけではなく、復習時に文意がとれない英文の構造分析をすることで正確な読解につながる。たくさんの英文を読むことも大切だが、丁寧に細部まで勉強することを忘れないで欲しい。

(メディカルラボ 英語科講師 国定 誠)